

理事会議事録

横浜スキー協会										横ス協30総017号								
会議名称	平成30年度 第10回			実施日時	令和元年6月5日 水曜日 19:00~20:45													
会議会場	県民サポートセンター602会議室			記録係	西田		印		理事長			印						
出席者	会長	副会長	理事長	副理事長		理事					監事		凡 例					
	河邊	鈴木	坂田	小沼裕		西田	森山	五月女	小沼み	飯塚		東島	小川	出席	遅参	早退	遅早退	欠席
	×	○	○	○		○	△	○	○	○		△	○	○	△	▽	◇	×

●決定事項

1. 次世代指導者育成プログラムの別事業化について 承認
2. Mt.石井スポーツとの連携強化について交渉を進める

●宿題事項

1. 評議員会資料作成までの期限（マイルストーン）をサイボウズ上で明示する（誰が、何を、いつまでに）
2. 評議員会の備品台帳の棚卸しを実施する 総務部 6月末迄
3. 角印の作成を進める 評議員会開催迄には完成させる
4. 協会理事補充の件は関係者で別途協議する

1. 鈴木副会長挨拶

今週監査会実施。理事会と連続で感謝申し上げる。監査残事項
評議員会及び次年度準備も開始される。引き続き皆様のご協力をお願いする

2. 本日の議題（坂田理事長）

2. 1 報告・審議事項
 2. 1. 1 競技部
 2. 1. 1. 1 審議事項
なし

2. 1. 1. 2 報告事項

- (1)ジュニアスノーヴァ行事
7月には案内を出したい。評議員会の承認を受けて発出できるよう準備を進める。

2. 1. 2 教育部

2. 1. 2. 1 審議事項

- (1)次世代指導者育成プログラムの別事業化について 【承認】
ぜひ進めていただきたい。新たに始めるので手間がかかることが心配
最初であればSNOVAで実施するのも検討できるのではないかと
「指導者の心構え」が非常に重要。対人の接し方、コミュニケーション能力等
指導時間の単位制も参考にしていきたい
有償の対応となる（予算はこれから検討） 評議員会の低減事項としても含めていきたい
継続に向けた体制、仕組みづくりも合わせて検討いただきたい
ジュニア行事の講師集めは苦勞している。レベル差もバラバラなので、連携はお願いしたい
クラブ行事との連携も考えていただけると良いと考える

2. 1. 2. 2 報告事項

- (1)サポートプログラム会員アンケートについて
概ね好評であった
クラブへの周知方法は、継続検討が必要（クラブ代表宛の書簡は要考慮）

2. 1. 3 総務部

2. 1. 3. 1 審議事項

- (1)プリンタ修理
価格は次年度に向けてなので、9月~10月程度で調査する

2. 1. 3. 2 報告事項

- (1)評議員会資料作成進行状況
各行事報告資料はデータを入手しているが、資料へのマージはできていない。
ジュニア行事はデータの見直しが必要ではないかと
資料は今月末完成を目指す。完成度としては7割程度（監査報告を除く）
課題はない。作成タスクも明確になっているので、予定通り進捗予定
次年度の行事計画も掲載する必要がある（日程、予算）
備品の数の棚卸しも必要ではないか → 実施する（総務タスク）
(must)横断幕、ベストの棚卸し 7/10迄
(want)備品込で事務所にある物品棚卸し なるはや
競技 ジュニア関連の情報を鋭意作成進めていただきたい

(2)監査実施状況

本会計の監査が残っている。6月22日に残事項確認。順次進める

(3)決算書作成進行状況

決算書作成は6月29日期限で進めている（資料電子版が出てくる期限）
その内容を受けて、各部確認。7月10日理事会で最終確認を行う予定
確認後、印刷、発送を業者へ依頼予定
6/29～7/10の間で監査報告書を整備いただきたい
6月23日には葉書原案を作りたい。

ToDoリスト作成して、誰が何をいつまでに を明確にしましょう

2. 4 上部団体関連

2. 4. 1 体協関連
なし

2. 5 その他

2. 5. 1 ICIの協賛と割引価格の案内

横浜のスキ一部と連携強化を行いたい。会員特典が付くので、クラブ単位で問い合わせいただきたい
協会行事参加者への展開・紹介もあわせて強化したい
協会として、横浜市民向けの連携強化に向けた施策検討に着手したい 【承認】

2. 5. 2 評議員会準備について

13時からに変更済み
事業方針はなるはやで。目安6/15で準備しましょう

2. 5. 3 角印

未作成。これから作成する
評議員会までに準備できる状態に持っていくよう準備する

2. 5. 4 理事補充について

協会としての方針及び役選委員会への対応内容を審議・決定する必要がある
別途関係者で協議する

3. 閉会挨拶（鈴木副会長）

以上